

アンサーバックシステム リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

取扱説明書／保証書

BeTime A-85

この度はリモコンエンジンスターターを、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。尚お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次

はじめに

●主な特長	2
●使用上の注意	3
●梱包内容	4
●各部の名称と基本接続図	5
●取付け前の注意	6

取付け

●接続	7~9
●メインユニットのファンクションスイッチ設定	10
●メインユニットの16Pコネクターの接続	11
●作動確認	12~13
●作動確認対処方法/LED確認表	14
●LEDエラー確認表	15
●フットブレーキ配線	16
●L端子検出配線	17

リモコンの使用方法

●エンジンを始動/停止させる	18
●エンジン始動しているか確認する	18
●アンサーバック音の切替について	19
●リモコンの追加登録方法	19

アンテナユニットの操作方法

●アイドリング時間とターボタイマーの設定について	20
●アンテナユニットセル時間調整について	21

機能説明

●セキュリティモードについて	22~26
●当社別売セキュリティシステムとの取付けについて	27~28
●当社別売セキュリティシステムとの連動について	29~31
●ワイヤレスドアロック機能について	32~34
●カーテシ検出による安全機能	35

その他

●アンテナユニット・メインユニットの固定方法	36
●警告ステッカーの貼り付け場所/オプションについて	37
●運転するには/リモコンを紛失した時は/リモコンの防水性について/スリープ機能について	38
●リモコンの電池交換について	39
●故障かな?と思ったら	40
●アフターサービスについて	41
●仕様	42
●保証規定	43
●保証書	44

主な特長

超小型生活防水仕様のアンサーバックリモコン採用

- リモコンは超小型でJIS防水保護等級3級相当の生活防水仕様です。
- エンジン始動確認やドアロック・アンロック確認をリモコンに光と音でお知らせ。リモコンアンサーバック音をブザー、無音のどちらかを選択することができます。
- 付属のリモコン以外にもうひとつ別売りリモコンを追加登録可能。

新開発マイクロアンテナユニットによるフラッシュモードで不審者を威嚇

- マイクロアンテナユニット内蔵の監視LEDランプ(5パターンのフラッシュモード)で不審者を威嚇することができます。

ワイヤレスドアロック機能搭載(オプションBe-970が必要です。)

- リモコンで車輪ドアロック・アンロックできます。一部車種でオプション Be-965ドアロックリレアダプターが必要な場合もあります。※
- ※ 詳しくは弊社「ビータタイム車種別専用ハーネス適合表」を御覧いただくか、サービス部へお問い合わせ下さい。

電波視界到達距離 MAX 3600m / 市街地100m~1000m

- 本製品は特定小電力の認定を受けており、見通しの良い場所で最長約3600m(※1)の通信が行えます。又、市街地で使用した場合約100m~1000mの通信が可能です。(※2)
- ※1 当社測定による最高値 ※2 場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合もあります。また、車輪電気ノイズの影響でエンジン始動に比べ停止させる方が短くなる場合があります。

お好みのウォーム時間とターボタイマー時間を設定

- エンジンスタート ウォーム(暖機)時間は10分・20分・30分・40分の選択式。
- ターボタイマー時間はOFF・30秒・1分・5分の中から選択。
- グロー時間は5秒・8秒の選択。

セル時間調整機能搭載

- セル時間の長さはオート(自動)又はマニュアル(手動)の切替えが可能です。

当社別売セキュリティシステム連動可能

- A-85のリモコンで当社別売セキュリティシステム※のスタート・ストップ操作が可能です。※機種により対応できないものがあります。

安心のリトライ機能搭載

- 万一、1回でエンジン始動できなかった場合、再始動を自動的に2回まで行います。

安全機能

- 本製品は万一に備えた安全機能を採用しています。

1. 独立配線システム
2. IDコードによる誤作動防止機能
3. A/Tシフトストップ機能
4. フットブレーキ回路 ※3、4はどちらか選択になります
5. ACC検出回路
6. バッテリー電圧検出機能
7. ボンネットセンサー回路 ※オプション接続
8. 本体の消費電流を抑えるスリープ機能(8日間 車輪エンジンをかけなかった場合)
9. ドアオープン(カーテシ)ストップ回路 ※オプション接続

ご使用前に下記の注意事項を必ずお読みください。

危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトレバーをP(パーキング)に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、P(パーキング)以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖機運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車輦で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車輦が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

注意

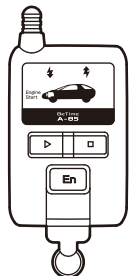
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー(スターター含む)や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中は純正キーレスエントリーシステムまたは純正ワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車種は、降車時にスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください。
- 公道でエンジンをかけたまま車輦を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。)

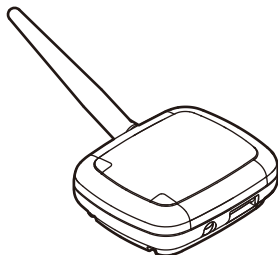
本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

梱包内容

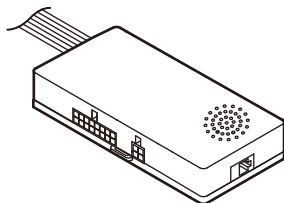
■リモコン(1個)
(※電池含む)



■アンテナユニット(1個)

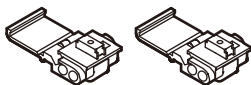


■メインユニット(1個)

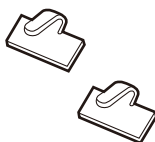


付属品

■エレクトロタップ(2個)



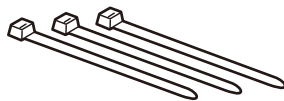
■コードクランプ(2個)



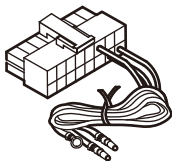
■接続ケーブル(1本)
(2.5m)



■インシュロック(3本)



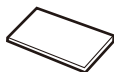
■16Pコネクター(1個)



■サンバイザーステー (1個)



■両面テープ(アンテナユニット固定用 1枚)



■警告ステッカーシート (1枚)



■フットプレーキ延長線(黄色)(P16参照)(1本)



■L端子延長線(白色)(P17参照)(1本)



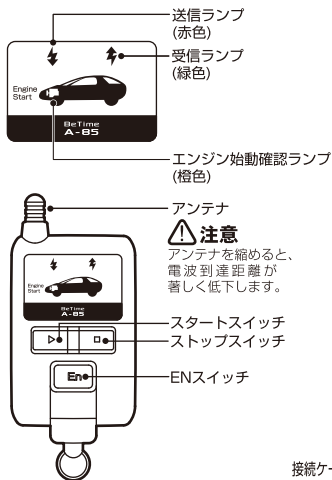
■当社別売セキュリティシステム接続端子線(茶色)(P24参照)(1本)



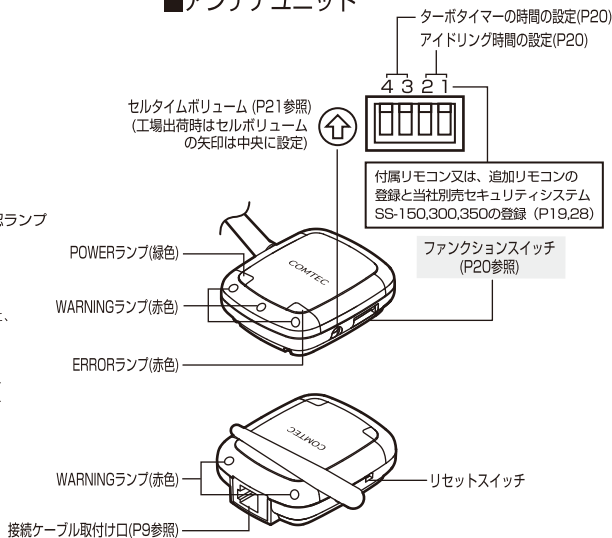
各部の名称と基本接続図

■リモコン

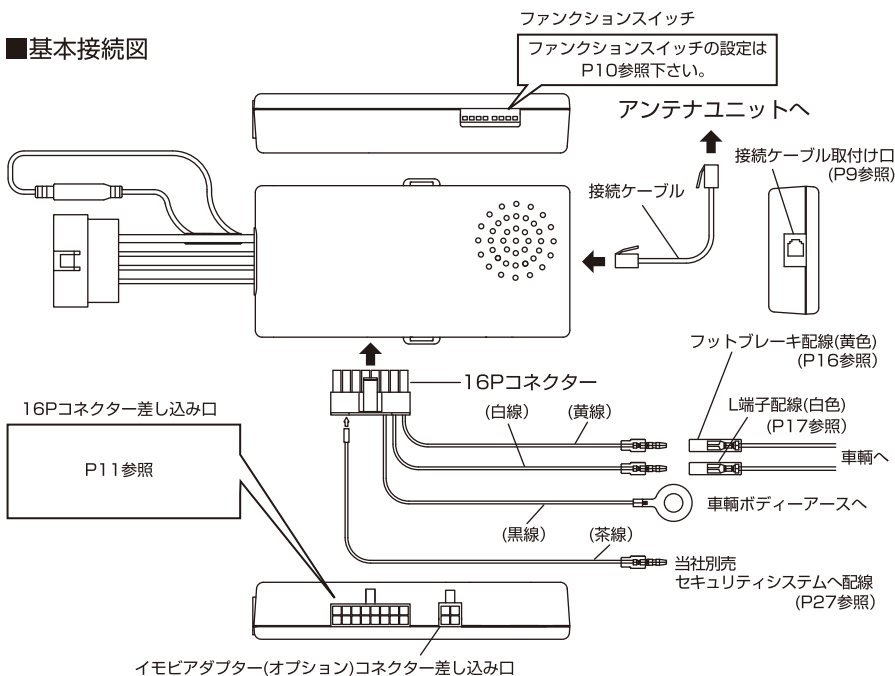
LEDディスプレイ拡大図



■アンテナユニット



■基本接続図



取付け前の注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機を取付けを行ってください。

① 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・ハサミ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・保護テープ
- ・カッターナイフ
- ・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

② シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。



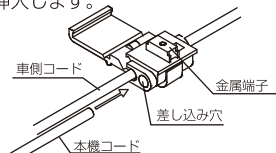
③ 配線について

●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、市販の保護テープを貼って保護してください。

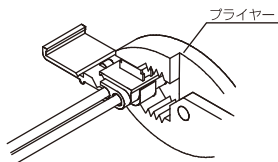


④ エレクトロタップ使用方法について

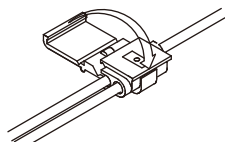
1 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



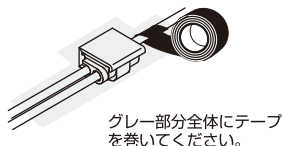
2 プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



3 カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

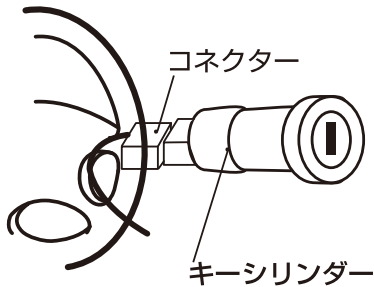


4 絶縁テープを巻いて作業終了です。

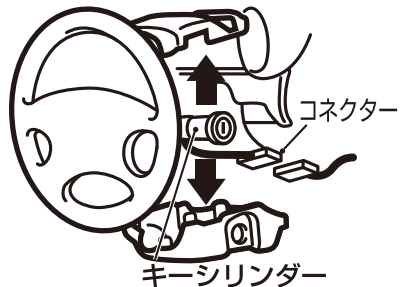


1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

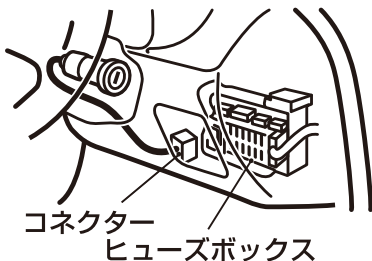
①キーシリンダー直付けタイプ



②キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ

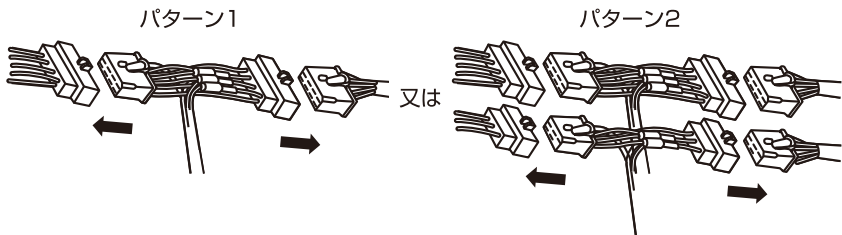


③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



※コネクターの場所は車種によって異なります。
(ほとんどの車が上記1~3のいずれかにあてはまります。)
車種によってはコネクターが2ヶ所存在する場合もあります。

2 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。



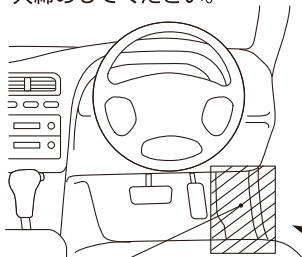
⚠ 注意

- ・コネクターを外して、キーを回しても、エンジンは始動しません。
- ・もしエンジン始動した場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。
- ・専用ハーネスによっては車側のコネクターを2ヶ所外し、接続する必要があります。(パターン2参照)

取付け (接続)

3 アースの取付

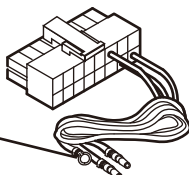
- ①アース端子 (黒コード) を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。



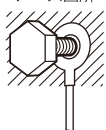
この部分に取り付けます

⚠ 注意

アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

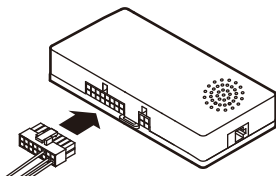


アース箇所



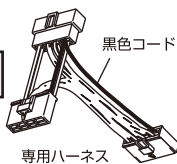
- ②メインユニットの16Pコネクター差し込み口に、16Pコネクターを接続します。

・ファンクションスイッチの設定(P10参照)する必要がありますのでご注意ください。

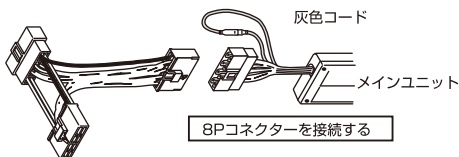


- ## 4 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。下記の図①・②から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

- ① 専用ハーネスに黒コードが1本

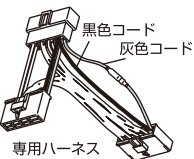


専用ハーネス

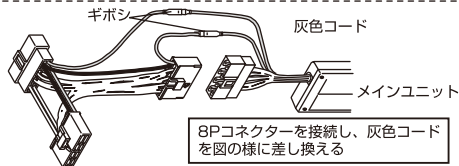


8Pコネクターを接続する

- 専用ハーネスに黒コードが1本
灰色コードが1本



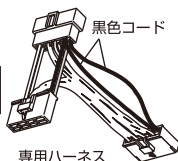
専用ハーネス



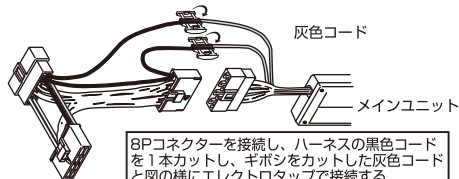
8Pコネクターを接続し、灰色コードを図の様に差し換える

- ②

- 専用ハーネスに黒コードが2本



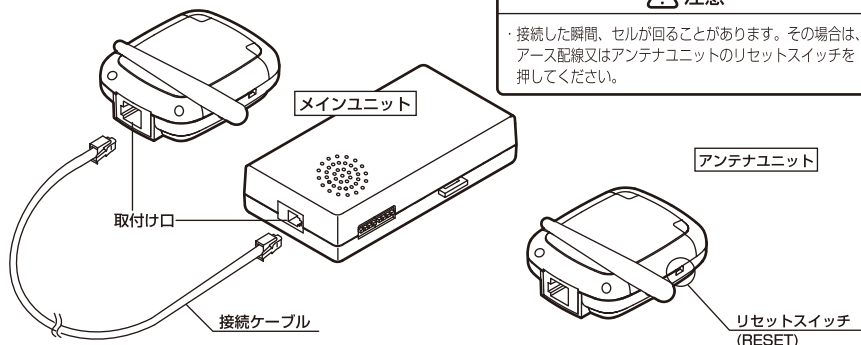
専用ハーネス



8Pコネクターを接続し、ハーネスの黒コードを1本カットし、ギボシをカットした灰色コードと図の様にエレクトロタップで接続する

5 アンテナユニットとメインユニットの接続

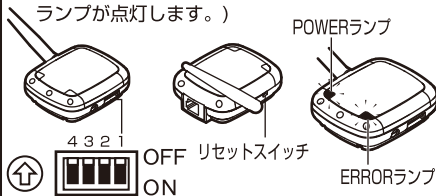
付属接続ケーブルをアンテナユニットとメインユニットの取付け口に、それぞれ接続してください。



6 IDコードの登録・再登録

本製品を初めて取付けた時や、バッテリーを交換した時、またリモコンを紛失した時にIDコードの登録を行います。

- ①パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をOFFにします。(ID登録入力時のみOFFにします)
その後、リセットスイッチを押してください。
(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)



- ②リモコンのアンテナを十分にのぼします。



- ③リモコンのEN スイッチを押します。



- ④リモコンの送信ランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時に押します。



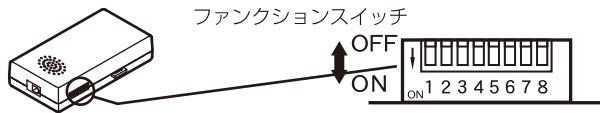
この時、リモコンの受信ランプ(緑)が点灯して、アンテナユニットのランプ(緑・赤)が消灯すれば終了です。リモコンアンサーバックNG音の場合はもう一度ID登録をし直して下さい。上記操作を1分以内に行ってください。(1分以上経過した場合アンテナユニットが自動的に消灯します。)

その後、キーで必ずST(セル)の位置まで通常より長めに回してエンジン始動して下さい。エンジン始動したら、エンジンを止めて下さい。(エンジン始動しない場合はP14 □を参照)

※追加リモコンを登録したい場合は、P19をご参照下さい。

取付け(メインユニットのファンクションスイッチ設定)

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがついています。



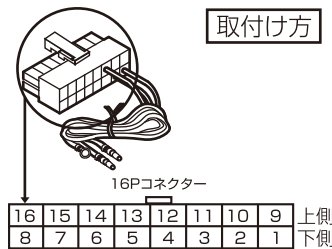
スイッチNo.	スイッチの働き	内容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0(V)の車はONにします。 12(V)又は車輛と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	セル時間設定	エンジン始動時のセルを止める時間を設定します。 (※2)	オート (自動停止)	マニュアル (ボリューム調整)
3	エンジン始動 検出方法	エンジン始動検出の選択をします。 L端子配線した場合はONにします。	オート (自動検出)	L端子
4	グロー時間 (※3)	グローの時間を設定します。	5秒	8秒
5	IG入力検出の選択 (※4)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種は ONにします。(通常はOFFにします)	IG1	IG2
6	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	しない	する
7	—	—	—	—
8	エンジン自動検出 識別方法	エンジン始動検出をオート(自動検出)でエンジン がかからない場合は、ONにします。	通常	特殊車輛

⚠ 注意

- ※1 一部の車輛でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキングPの位置以外でキーが抜けてしまう場合に配線します。オプションBe-963 Pポジション線を車輛のPポジションインジケータランプに配線する必要があります。
- ※2 No.2をON(マニュアル設定)にした場合、アンテナユニットのセルタイムボリュームで0.5秒～2.5秒まで調整できます。(詳しくはP21参照) No.2をOFF(オート)にすると、セル時間延長モードになりエンジン始動検出確認してから最長1秒までセル時間を延長できます。
- ※3 ほとんどのガソリン車はOFF(5秒)のままにします。グロー時間とは、IG ONからセルをスタートさせるまでの時間です。基本的にグローランプを消すための役割です。
- ※4 ダイハツムーヴ等、一部の車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルが回らずエンジン始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない時は、メインユニットのファンクションスイッチNo.5をONにしてください。

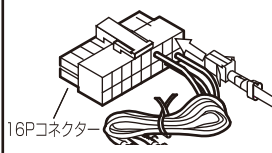
取付け(メインユニットの16Pコネクターの接続)

16Pコネクターには下記のオプションを接続することができます。

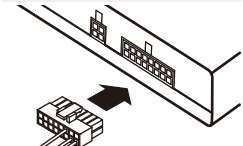


取付け方

①付属16Pコネクターに配線する端子をしっかりと差し込みます。
 ⚠差し替えることができませんので注意してください。



②付属16Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。
 ⚠オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P16参照)	9	ドアポジション(オプション)
2	L端子(P17参照)	10	ドアロック(オプション)
3	ボンネットセンサー(オプション)	11	アース(P8)
4	ボンネットセンサー(オプション)	12	未使用
5	カーテシ(オプション)	13	未使用
6	未使用	14	未使用
7	当社別売セキュリティシステム接続(P27)	15	ハザード(オプション)
8	ドアアンロック(オプション)	16	Pポジション(オプション)

■フットブレーキ (NO.1)

本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P16参照)

■L端子 (NO.2)

エンジン始動信号を検出します。(P17参照)

■ボンネットセンサー (NO.3・4)

当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンはかかりません。

■カーテシ (NO.5)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)又は、別売カーテシ線(Be-963)を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを約15秒強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。

■当社別売セキュリティシステム接続(NO.7)

当社別売セキュリティシステムとの接続に使用します。(P27参照)

■ドアアンロック(NO.8)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアアンロック線を接続するための端子です。(P32~34参照)

■ドアポジション(NO.9)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアポジション線を接続するための端子です。(P32~34参照)

■ドアロック(NO.10)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアロック線を接続するための端子です。(P32~34参照)

■ハザード(NO.15)

当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)を車輛にハザード線を接続するための端子です。ドアロック・アンロックするときに連動します。

■Pポジション(NO.16)

ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車輛にPポジション線(Be-963)を接続します。

取付け (作動確認)

⚠ 注意

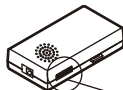
- ・取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。
- ・作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
- ・下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順

対処方法

1 アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。但し一部車種は、下記の設定にします。

- ・ダイハツムーヴ等の一部の車種はリモコンでかけた時アンテナユニットのPOWERランプが点灯したまま、セルがまわらずエンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない時は、メインユニットのファンクションスイッチNo.5をONにしてください。



ファンクションスイッチ



2 キーをACC(アクセサリ)の位置まで回してください。



Q:この時、ラジオ等アクセサリ電源のON/OFF操作ができますか？

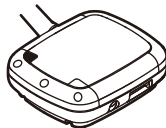


P14
A

3 キーをONの位置まで回してください。



Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、アンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯しますか？



P14
B

4 キーを必ずST(セル)の位置まで通常より長めに回してください。

⚠ 注意

※この動作を行うことにより、セル始動時のIG2の認識を記憶します。
この動作を行わないと、リモコンでエンジン始動できません。



Q:この時、エンジンが始動しますか？



P14
A

取付け(作動確認)

5 キーをOFFの位置まで回して、抜いてください。



Q:この時、エンジンが停止しますか？



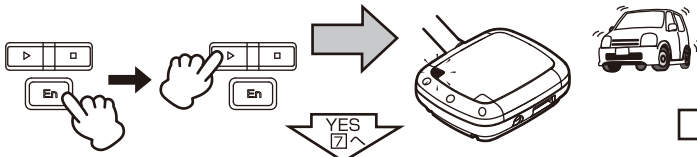
P14
C

6 リモコンでENスイッチを押した後、リモコンのランプが点滅している間にスタートスイッチ(▶)を押します。

Q:この時、アンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯し、エンジンが始動しますか？

(エンジン始動後、アンテナユニットPOWERランプは点滅します。)

又は、エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は灰色の配線の差し替えを行ってください。(P8.4-②)



P14
D

7 エンジン始動中にキーを入れ、ACCまで回します。



Q:この時、アンテナユニットのERRORランプ(赤)とPOWERランプ(緑)がP15 E6のような点滅になり エンジンが停止しますか？



P14
E

すべての作動は正常です。一旦キーをONまで回せば点滅は解除され、キーを抜けば終了です。

取付け (作動確認対処方法)

A	1. 専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照) 2. 専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照) 3. お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)
B	1. 専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照) 2. 専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照) 3. お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。) 4. アースが不安定な場合。 →アースをしっかり固定してください。(P8参照)
C	1. ターボタイマーが作動していませんか？(P20参照)
D	1. エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。 →メインユニットのファンクションスイッチNO.8をONにしてください。(P10参照) それでもかからない場合は、L端子配線をしてください。(P17参照) 2. 受信するがセルがまわらない。アースが不安定ではないですか？ →アースをしっかり固定してください。(P8参照) 3. セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。 ・セル時間が短い可能性があります。(ガソリン/ディーゼル車) →アンテナユニットのセルタイムボリュームを長めに調整してください。 (P21参照) ・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車) →メインユニットファンクションスイッチNo.4をONにしてください。 (P10参照) ・イモビライザー装備車の可能性があります。「ピータイム車種別専用ハーネス適合表」で確認して下さい。 4. エンジンがかかってすぐ止まる。アンテナユニットのERRORランプ(赤色)とPOWERランプ(緑色)が同時に点滅していませんか？ P/N検出エラーです。フットブレーキ配線をしてください。(P16参照) 5. タイハットムーヴ等の一部の車輛はリモコンでエンジンかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しないのでNo.5のスイッチをONにして下さい。 6. エンジン始動しない。P15 E10のランプが点滅していませんか？ IG2未検出エラーです。キーでエンジン始動を行って下さい。
E	1. 専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照) 2. 専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照) 3. お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

取付け (LED確認表)

本製品を接続後、作動確認する時に下記の表のような表示をします。

No.	ランプ名称 (色)	アンテナユニットランプ表示	表示内容	対策/解除方法
1	ERRORランプ (赤)	○○○○○○○○○○○○○○	待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)	○○○○○○○○○○○○○○		
2	ERRORランプ (赤)	○○○○○○○○○○○○○○	キーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)	●●●●●●●●●●●●●●		
3	ERRORランプ (赤)	●●●●●●●●●●●●●●	リモコンIDコード未登録 (リセットスイッチを押した後、 又はバッテリー交換直後の状態)	リモコンでIDコードを登録してください。 (P9参照)
	POWERランプ (緑)	●●●●●●●●●●●●●●		
4	ERRORランプ (赤)	○○○○○○○○○○○○○○	キーがOFFで本機作動中の状態 (エンジンスターター又は、 ターボタイマーが作動している時)	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)	●●●●●●●●●●●●●●		
5	WARNINGランプ (赤)	●●●●●●●●●●●●●●	セキュリティモード ON	正常作動しています。
	WARNINGランプ (赤)	○○○○○○○○○○○○○○	セキュリティモード OFF	

取付け (LEDエラー確認表)

接続後の作動確認を行って下記を表示した場合のエラー内容と対策/解除方法を表します。

No.	ランプ名称	表示	名称	内容/解除方法
E1	ERRORランプ (赤)		フットブレーキ検出 エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 フットブレーキ線の接続を確認してください。(P16参照)
	POWERランプ (緑)			
E2	ERRORランプ (赤)		ボンネット検出 エラー	本機作動中にボンネットセンサーが働いた状態。 解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 ボンネットセンサーの接続を確認してください。
	POWERランプ (緑)			
E3	ERRORランプ (赤)		P.N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 リモコンでエンジンがかからずこの表示になる場合はフットブレーキ配線(P16)が必要です。
	POWERランプ (緑)			
E4	ERRORランプ (赤)		Pポジション検出 エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 Pポジション線の接続を確認してください。(オプションBe-963取説参照)
	POWERランプ (緑)			
E5	ERRORランプ (赤)		カーテシ検出 エラー	カーテシ配線(P35)した場合、本機作動中にドアを開いてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、IGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 カーテシ線の接続を確認してください。(P35参照)
	POWERランプ (緑)			
E6	ERRORランプ (赤)		ACC検出 エラー	本機作動中にIGキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。
	POWERランプ (緑)			
E7	ERRORランプ (赤)		リレー溶着 エラー	メインユニットのリレーが溶着しています。 解除 再度ID登録を行って下さい。(P9参照)又は、キーONにして下さい。再度点灯する場合はサービス部へご連絡下さい。
	POWERランプ (緑)			
E8	ERRORランプ (赤)		バッテリー 電圧検出エラー	バッテリー低下したことをお知らせします。 電圧が復活するまで点滅します。 バッテリーの整備点検をお勧めします。
	POWERランプ (緑)			
E9	ERRORランプ (赤)		L端子配線違い エラー	L端子以外の線に間違えて配線したときの状態。 解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 対策 L端子配線の確認をしてください。(P17参照)
	POWERランプ (緑)			
E10	ERRORランプ (赤)		IG2未検出 エラー	取付けを行った後、確実にキーでエンジン始動させてIG2の認識を行って下さい。(P12 参照)
	POWERランプ (緑)			

取付け(フットブレーキ配線)



注意

一部の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチNo.6をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、**安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。**

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

- ・日産の全ての車種。※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、ハードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・シフトレバーがPの位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットのERRORランプ(赤)とPOWERランプ(緑)が同時に点滅する場合。
- ・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチNo.6をONにしてください。



2 付属のフットブレーキ延長線(黄)をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0(v)、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ線(黄)をエレクトロタップで接続してください。

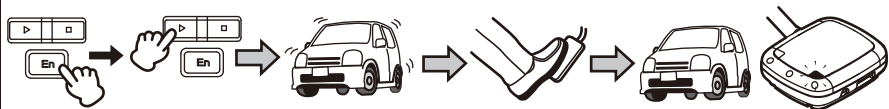


※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。(P6)

3 メインユニットに16Pコネクタを差し込んでください。
16Pハーネスから出ているフットブレーキ線(黄)とフットブレーキ延長線を接続してください。



4 リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。(その時、アンテナユニットのLEDがLEDエラー確認表P15のE1を表示しているか確認してください。)



取付け(L端子検出配線について)

L端子配線を行う前に下記の確認を行ってください。

それでもエンジンがかからない場合はL端子配線を行ってください。

①メインユニットのファンクションスイッチNO.8をONにします。

②セルボリューム時間の調整を行う(P21参照)

また、下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

- ・セルが回らないにもかかわらず、POWERランプだけ点滅し、本機作動中となっている。
- ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

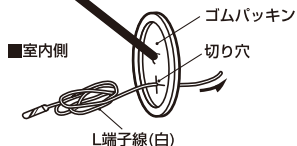
又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

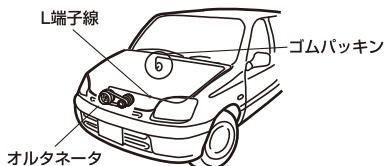
⚠ 注意

- ・シフトレバーをパーキング☐にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け付属L端子延長線(白)を図の様に室内側から入れてください。



2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、付属L端子延長線(白)を配線してください。

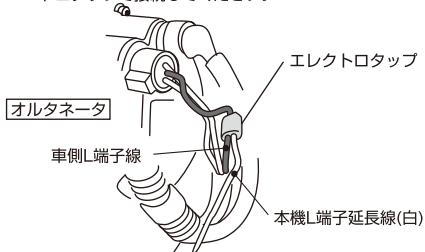


3 車のオルタネータにあるL端子線を探して下さい。
車側L端子の見分け方

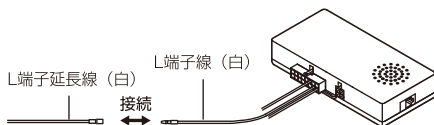
キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをつける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上※

※エンジン始動時6V以下の場合はBe-966が必要です。

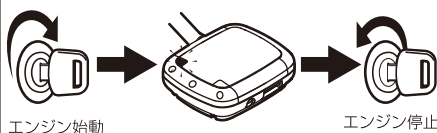
4 車のL端子線と付属L端子延長線(白)を付属のエレクトロタップで接続してください。



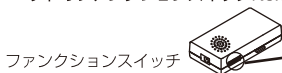
5 メインユニットに16Pコネクタを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線(白)と付属のL端子延長線(白)を接続してください。



6 キーでエンジンを始動し、アンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯するのを確認後、キーをOFFにしてください。



7 メインユニットのファンクションスイッチNo.3をONにしてください。



リモコンの使用法(エンジンを始動/停止させる)

リモコンでエンジンを始動させる (リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

取付け接続後、必ずP1,2,13「作動確認」を行ってから下記の操作を行って下さい。
P7～P9の取付けを行った後、必ずキーをST(セル)まで回して一度エンジンを始動させてください。
(メインユニットがIG2の自動認識を行います。)*この動作を行わないとリモコンでエンジン始動ができません。

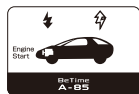
- 1.ENスイッチを押します。(長押しではありません。)



送信ランプ(赤色)が点滅します。



- 2.送信ランプが点滅してる間にスタートスイッチ(▶)を押します。



送信ランプ(赤色)が点灯に変わります。

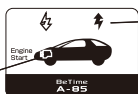


- 3.アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、リモコンに信号(アンサーバック)を送ります。
リモコン受信しない場合は、下記4の動作を行いません。 ※1



※1 信号を、受信しなかった場合リモコンの受信ランプ(緑)は何も点灯しません。
(プザー音を選択した場合は、NG音が流れます。)

- 4.エンジン始動するとリモコンに始動確認信号を送ります。 ※2



エンジン始動ランプ

受信ランプ

アンサーバック音の鳴り方
プザー 選択の場合 ビービー

リモコンのエンジン始動ランプ(橙色)と受信ランプ(緑色)が同時点灯します。 ※3

※2 リトライでエンジン始動してもリモコンには返事は返ってきません。
その場合は、下記の「エンジン始動確認する」でご確認下さい。

※3 一部車輛でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては周囲の電波の影響を受けアンサーバックしないことがあります。

リモコンでエンジンを停止させる (リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

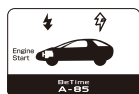
- 1.ENスイッチを押します。(長押しではありません。)



送信ランプ(赤色)が点滅します。



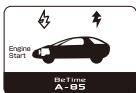
- 2.送信ランプが点滅してる間にストップスイッチ(■)を押します。



送信ランプ(赤色)が点灯に変わります。



- 3.アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、リモコンに信号(アンサーバック)を送りエンジンが停止します。



※ 信号を、受信しなかった場合リモコンの受信ランプ(緑)は何も点灯しません。
(プザー音を選択した場合は、NG音が流れます。)

エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、上記「リモコンでエンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。

エンジンがかかっているか確認するには、エンジン始動ランプ(橙色)と、受信ランプ(緑色)が点灯します。
エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

※ アンサーバックしない場合、場所によっては周囲の電波の影響を受け通信距離が極端に短くなる場合もあります。
また、車輛電気ノイズの影響でエンジン始動に比べ停止させる方が短くなる場合があります。

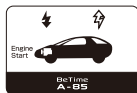
リモコンの使用方法(アンサーバック音の切替えについて)

リモコンのアンサーバック音を、ブザー/無音の中から選択することができます。
(工場出荷時は、ブザー)

1. スタートスイッチ(▶)と、ストップスイッチ(■)を同時押しします。



同時押し



送信ランプ(赤色)が点灯し、ブザー音が鳴ります。

● スタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時押しする度に
ブザー → 無音の順で切り変わります。

ブザーを選択する場合・・・ブザー音(ピーツ)が鳴ったら止めます。

無音を選択する場合・・・ブザー音(ピツ)と鳴ったら止めます。

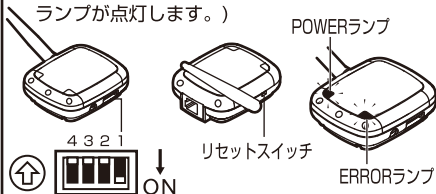
リモコンの追加登録方法

付属のリモコン以外に予備のリモコンを持つことができます。(付属のリモコンを含め合計2個まで)

1台の車で共有しているご家族の方々に最適です。

付属のリモコンのID登録はP9 **6** を参照して下さい。

① パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をONにします。(ID登録入力時のみONにします)その後、リセットスイッチを押してください。(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)



② リモコンのアンテナを十分にのぼします。



③ リモコンのEN スイッチを押します。



④ リモコンの送信ランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時に押します。

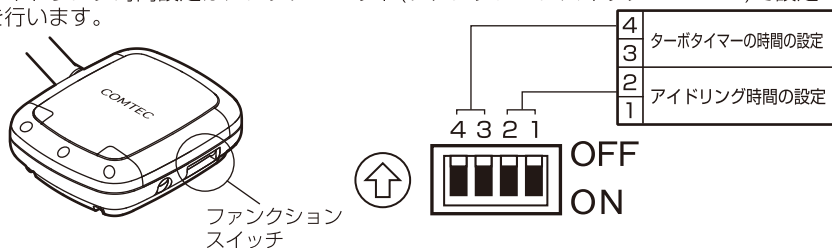


⑤ ID登録後、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をP20のアイドリング時間の設定表に従って設定して下さい。

アンテナユニットの操作方法(アイドリング時間とターボタイマーの設定について)

■アイドリング時間の設定

アイドリング時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチNo.1・2)で設定を行います。



ファンクション スイッチ	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.1	No.2
アイドリング時間		
10分	OFFにします	OFFにします
20分	ONにします	OFFにします
30分	OFFにします	ONにします
40分	ONにします	ONにします

■ターボタイマー時間の設定

ターボタイマーの時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチNo.3・4)で設定を行います。



危険

※ターボタイマーを作動させる場合、必ず下記の確認をお願いします。

一部車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)の位置以外でキーをOFFにして抜けてしまうものがあります。その場合は、オプションPポジション線(Be-963)をシフトレバーをP(パーキング)の位置に動かした時に、12V又は0Vの変化※1ある車輛側線に接続してください※2。キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのファンクションスイッチNo.5をONにして下さい。

※1メインユニットのファンクションスイッチNo.1をどちらかに設定します。(P10)

※2メインユニットの16PコネクターNo.16のピンへ接続してください。(P11)

ファンクション スイッチ	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.3	No.4
ターボタイマー		
使用しない	OFFにします	OFFにします
30秒	ONにします	OFFにします
1分	OFFにします	ONにします
5分	ONにします	ONにします

アンテナユニットの操作方法(アンテナユニットセル時間調整について)


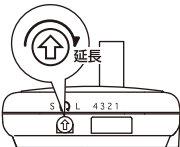

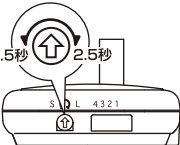
アンテナユニットにはセル時間を調整するセルボリュームがあります。

■セル時間の調整について

(工場出荷時のメインユニットのファンクションスイッチはオート/

アンテナユニットセルボリュームは中央に設定)

車輛に合わせてセル時間をオート(自動調整)又はマニュアル(手動調整0.5秒~2.5秒)に設定することができます。セルがひきずる場合はセル時間を短く、エンジン始動しにくい場合はセル時間を長めに調整します。

セル時間	メインユニットのファンクションスイッチNo.2	セルボリュームのはたらき
オート (自動)		 <p>エンジン始動検出後、セルを自動的に止めますが更にセルボリュームを右に回すことでセル時間を延長できます。(セル延長時間は最長1秒まで)</p>
マニュアル (手動)		 <p>エンジン始動検出にかかわらずセル時間を手動調整(0.5秒~2.5秒)できます。</p>

⚠ こんなときは

エンジンスタートするがセルをひきずる場合

メインユニットファンクションスイッチNo.2がOFFの(オート)場合は、セルボリュームを左に回しセル時間を短かめに調整しそれでもひきずる場合は、ファンクションスイッチNo.2をON(マニュアル)に設定してアンテナユニットのセルボリュームを左に回しセル時間を短かめに調整します。

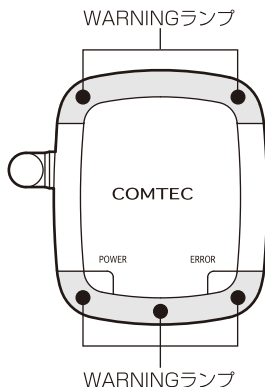
セルしか回らずエンジンがかからない場合

メインユニットファンクションスイッチNo.2をOFF(オート)に設定している場合はセルボリュームを右に回し、セル時間を長めに調整します。それでもセルが短い場合はファンクションスイッチNo.2をON(手動)に設定してアンテナユニットのセルボリュームを右に回し調整します。

機能説明(セキュリティモードについて)

■セキュリティモードとは

アンテナユニット内蔵の5つのWARNINGランプが点滅することにより、不審者に対して心理的威圧感を与えるフラッシュ威嚇機能を採用しています。

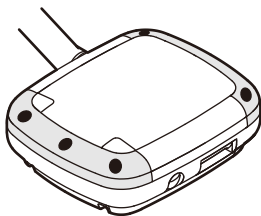


セキュリティモードをスタートさせる

1. リモコンのスタートスイッチ (▶) を2度押しします。(長押しではありません。)



2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号 (アンサーバック) を送ります。アンテナユニットWARNINGランプが点滅します。
(点滅しない場合、点滅パターンが消灯に設定されている可能性があります。P23参照)



⚠ 注意

リモコンでエンジン始動中、スタートスイッチ (▶) を2度押しした場合、リモコンのエンジン始動ランプ (橙色) と受信ランプ (緑色) が同時点灯します。

- ドアロック配線している場合、ドアロック作動します。又、当社別売セキュリティシステムと接続している場合は、当社別売セキュリティシステムが連動スタートします。

点滅のパターンを変更するには、次ページをご覧ください。

機能説明(セキュリティモードについて)

5パターンの光り方について

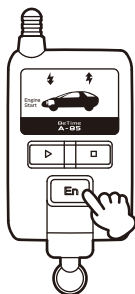
セキュリティモードの点滅パターンを変えることができます。

5パターンの点滅からお好きな光り方を選択します。(消灯させることも可能)

No.	パターン名称	詳細ページ	
1	フラッシュ	P24	(工場出荷時)
2	コーナーサイクル	P24	
3	ナイトライダー	P24	
4	鼓動	P25	
5	コンビネーション	P25	
6	消灯	—	

点滅パターンを変える

セキュリティモードをスタートさせた状態でEnスイッチを5秒以上長押しします。



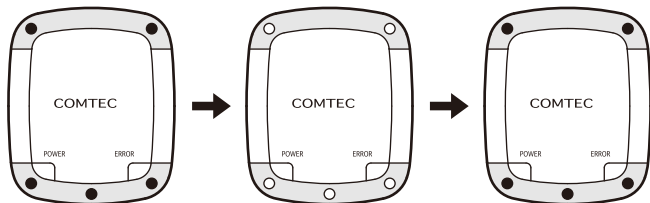
・ Enスイッチを5秒以上押し度、下記のように点滅パターンが変わります。

フラッシュ → コーナーサイクル → ナイトライダー → 鼓動 → コンビネーション
→ 消灯 → フラッシュに戻る

点滅パターンについて

No.1

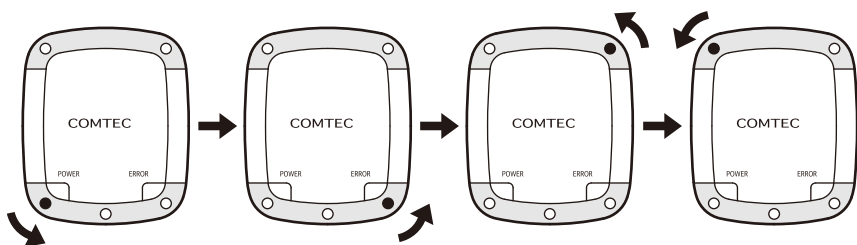
フラッシュ



全てのWARNINGランプが点滅します。

No.2

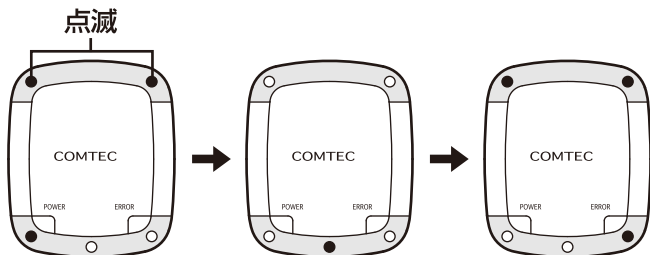
コーナーサイクル



4コーナーが1個ずつ移動

No.3

ナイトライダー

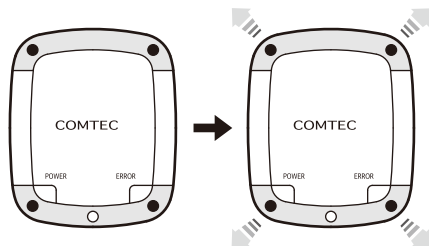


左右に移動

点滅パターンについて

No.4

鼓動



4コーナーが点灯後、徐々に消えていきます。

No.5

コンビネーション

No.1～No.4を繰り返します。

No.6

消灯

セキュリティモード作動時でも
WARNINGランプを、点滅させません。

機能説明(セキュリティモードについて)

セキュリティモードをストップさせる

1. リモコンのストップスイッチ (■) を2度押しします。(長押しではありません。)



2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号(アンサーバック)を送ります。アンテナユニットWARNINGランプが消灯します。

⚠ 注意

リモコンでエンジン始動中、ストップスイッチ (■) を2度押した場合、リモコンのエンジン始動ランプ (橙色) と受信ランプ (緑色) が同時点灯します。

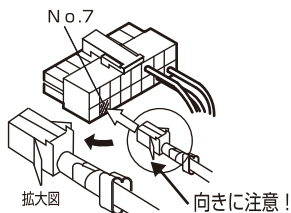
- ドアロック配線している場合、ドアアンロック作動します。又、当社別売セキュリティシステムと接続している場合は、当社別売セキュリティシステムが連動ストップします。エンジンスターターでドアロック配線した場合、オートロック機能も働きます。
- オートロック機能が作動した場合、セキュリティモードは自動的に働きません。

機能説明(当社別売セキュリティシステムとの取付けについて)

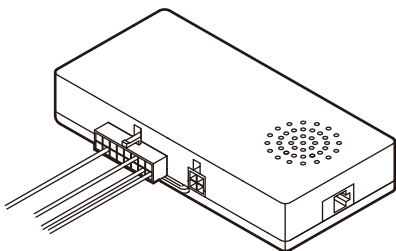
当社別売セキュリティシステムと接続する

A-85のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート、ストップ操作ができます。
(付属のセキュリティシステム接続線を使用します。)

- 1** 16PコネクターのNo.7に付属のセキュリティシステム接続線(茶)をしっかりと差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

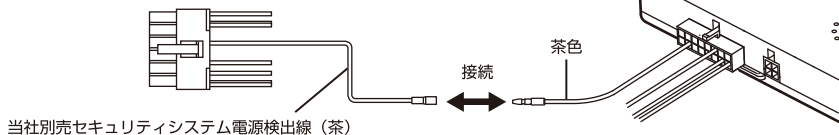


- 2** メインユニットにコネクターを差し込んでください。



- 3** 付属のセキュリティシステム接続線(茶)と当社別売セキュリティシステム付属コネクターの電源検出線(茶)を接続して下さい。

※ キーONで当社別売セキュリティシステムが作動停止します。

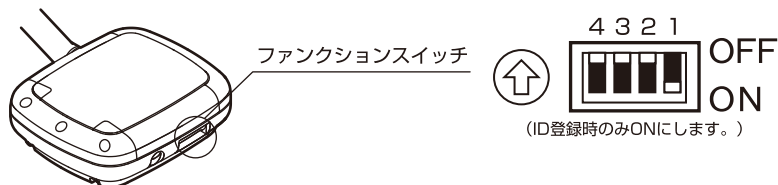


機能説明(当社別売セキュリティシステムとの取付けについて)

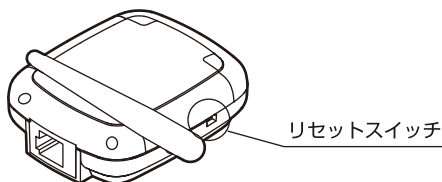
当社別売セキュリティシステムSS-150,300,350のリモコンで本機のエンジン始動を行う

SS-150,300,350のリモコンで本機のエンジン始動/停止を行うことができます。(P27参照)
SS-150,300,350のリモコンを使用するには、まず最初にID登録を行う必要があります。

- 1** 本機のアンテナユニットのファンクションスイッチNo.1をONにします。

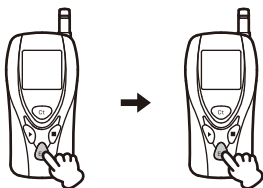


- 2** 本機のアンテナユニットのリセットスイッチを押します。



- 3** SS-150,350の場合

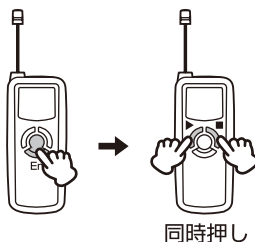
Enスイッチを2度押しします。



※SS-150,350のリモコンを使用する場合、
SS-150,350のメインユニットにID登録2又は、
ID登録3の操作を再度行ってください。

- SS-300の場合

Enスイッチを押し、送信ランプ点滅中にスタート
スイッチ (▶) /ストップスイッチ (■) を同時押
しします。

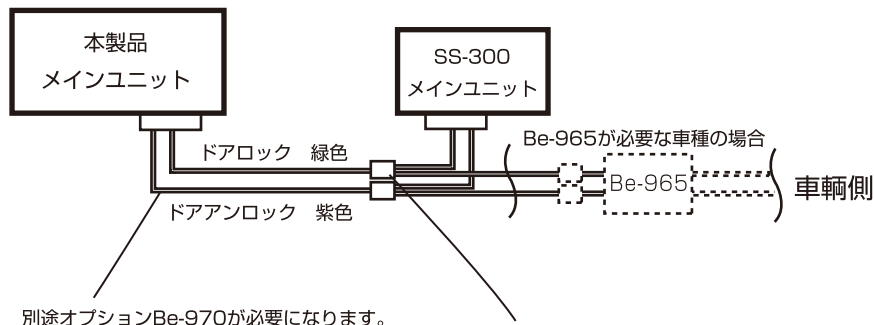


- 4** ID登録後、アンテナユニットのファンクションスイッチNo.1をP20のアイドリング時間の設定表に従って設定してください。

機能説明(当社別売セキュリティシステムとの取付けについて)

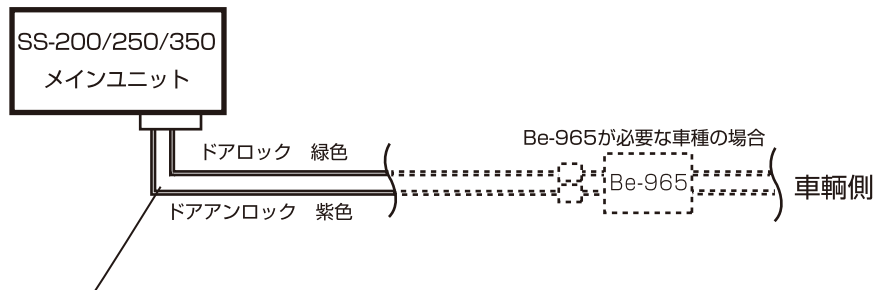
当社別売セキュリティシステムを、車輻にドアロック配線することで当社別売セキュリティシステムのリモコンでドアロック・アンロックさせることができます。又、A-85のリモコンでもドアロック・アンロック作動させる場合は、下記のような配線を行うことによりどちらのリモコンでも作動させることができます。(基本的な車輻への接続方法は、P32～P34を参照のこと)

SS-300の場合 (ピータイムシリーズとSS-300両方で配線を行って下さい。)



トヨタ車など、Be-965が必要ない車種は本製品のメインユニットと車輻の間にまた、ニッサン車など、Be-965が必要な車種は本製品のメインユニットとBe-965の間にドアロック・ドアアンロックそれぞれの線にエレクトロタップで接続します。

SS-200/250/350の場合 (セキュリティ側で配線を行って下さい。)

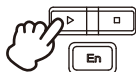


SS-200の場合、別途オプションSS-054が必要になります。

機能説明(当社別売セキュリティシステムとの連動操作について)

A-85のリモコンで当社別売セキュリティシステムをスタートさせる

1. リモコンのスタートスイッチ (▶) を2度押しします。(長押しではありません。)



2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号 (アンサーバック) を送ります。アンテナユニットWARNINGランプが点滅し当社別売セキュリティシステムがスタートします。

A-85のリモコンで当社別売セキュリティシステムをストップさせる

1. リモコンのストップスイッチ (■) を2度押しします。(長押しではありません。)



2. アンテナユニットがリモコンからの信号を受信すると、信号 (アンサーバック) を送ります。アンテナユニットWARNINGランプが消灯し当社別売セキュリティシステムがストップします。

警報中の当社別売セキュリティシステムをストップさせる

当社別売セキュリティシステムが作動又は警報中でもA-85のリモコンストップ操作又はキーでエンジン始動する事により、作動停止します。

⚠ 注意

A-85又は当社別売セキュリティシステムのリモコンで、セキュリティスタート・ストップ作動させる場合は、誤作動防止とセキュリティ機能向上のために下記の事項をお守りください。

- A-85のリモコンでセキュリティ連動スタートした場合は、必ずA-85のリモコンでセキュリティストップしてください。
- 当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティスタートした場合は、必ず当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティストップしてください。

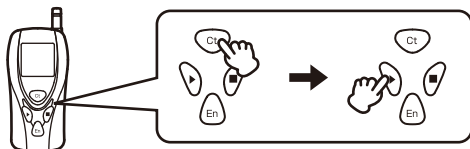
機能説明(当社別売セキュリティシステムとの連動操作について)

当社別売セキュリティシステムSS-150,300,350のリモコンでエンジン始動・停止させることができます。下記の操作をする場合は、必ずP28のID登録を行って下さい。

当社別売セキュリティシステムSS-150.350の場合

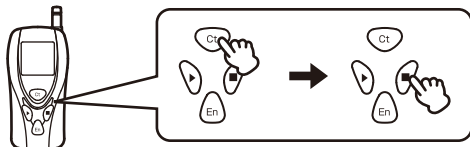
リモコンでエンジン始動させる

コントロールスイッチ (ct) を押し待ち受け画面表示中にスタートスイッチ (▶) を押します。



リモコンでエンジン停止させる

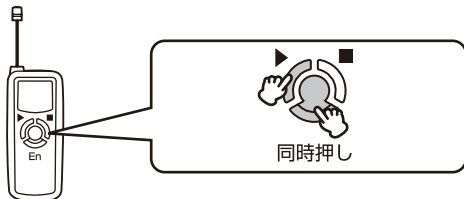
コントロールスイッチ (ct) を押し待ち受け画面表示中にスタートスイッチ (■) を押します。



当社別売セキュリティシステムSS-300の場合

リモコンでエンジン始動させる

エントリースイッチ (En) とスタートスイッチ (▶) を同時押しします。



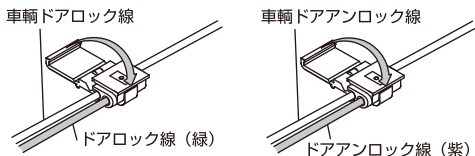
リモコンでエンジン停止させる

エントリースイッチ (En) とストップスイッチ (■) を同時押しします。



Aタイプの続き

- 3** ドアロック・ドアアンロック線(緑・紫)を項目**2**で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



※確認(必ず行ってください)

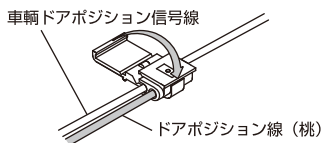
エレクトロタップで接続後、延長線の端子部をボディアースに一瞬接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 4** 項目**3**の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。(トヨタ系又はニッサン系の一部車輦) ドアアンロックが作動する場合は、項目**6**へ進んでください。



ドアロックノブを操作してロック時に12V※2、アンロック時に0Vになる線を探します。
※2.一部の車種で、パルス信号のため、12V出力しないものがあります。

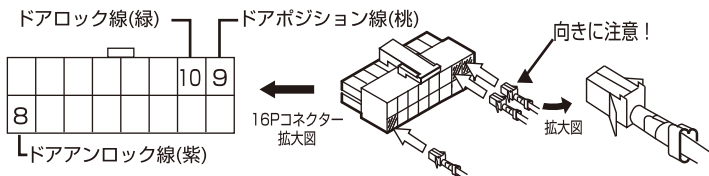
- 5** 項目**4**で探したドアポジション信号線にドアポジション線(桃)をエレクトロタップで接続します。



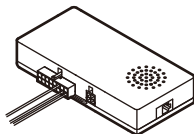
※確認(必ず行ってください)

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線の端子部をボディアースに一瞬接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 6** 16PコネクターのNo.8にドアアンロック線(紫)を
// No.9にドアポジション線(桃)を
// No.10にドアロック線(緑)を
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。
- } しっかり差し込んでください。



- 7** メインユニットにコネク터를差し込んでください。

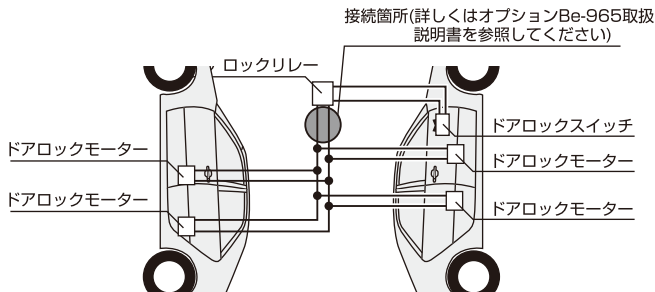


機能説明(ワイレスドアロック機能について)

Bタイプ 別売ワイレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

1 接続概要図

ドアロック線(通常0V)・・・ロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。
ドアアンロック線(通常0V)・・・アンロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。



機能説明(ワイレスドアロック機能の使用方法)

使用方法

1 ●ドアロックする時

・セキュリティモードスタート+当社別売セキュリティシステム連動

▶スイッチを
2度押ししてください。

・ドアロックのみ

▶スイッチを
2秒以上長押ししてください。



2 ●ドアアンロックする時

・セキュリティモードストップ+当社別売セキュリティシステム連動

■スイッチを
2度押ししてください。

・ドアアンロックのみ

■スイッチを
2秒以上長押ししてください。



⚠注意 オートロック機能について

本機リモコンでアンロックした場合、約30秒後に自動的にロックされますのでインロックにはご注意ください。
(オートロック機能解除の方法(次の1か2の動作を行って下さい。))

1【その都度解除する方法】

カーナビ配線(P35)をしてドアアンロック後約30秒以内にドアを開けてください。

ドアを開けてから30秒以内にキーをONまでまわして下さい。

(但し、リモコンでエンジン作動中は約15秒後にエンジンが停止します。)

2【オートロック機能を消去する方法】

①キーをOFFからACCにして約3秒以上待つて下さい。

②キーをOFFに戻します。

③キーをONの位置に回して約3秒以上待つて下さい。

④キーをOFFに戻します。

⑤リモコンストップスイッチ(■)を2度押ししてください。(長押しではありません。)

*インジケータパネルの警告ランプ等がON・OFF2回点滅を繰り返せば完了です。

消去後、同じ動作を行えばオートロック機能は復帰します。その時インジケータパネルの警告ランプ等がON・OFF1回点滅します。

*上記の操作しても解除できない場合は、もう一度上記操作を行ってください。

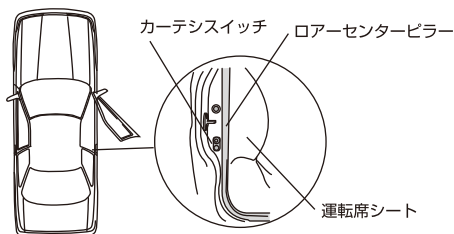
機能説明(カーテシ検出による安全機能) オプションBe-970又はBe-963が必要になります。

■ リモコンでエンジン作動中ドアを開けると約15秒後にエンジンを停止させる事ができます。

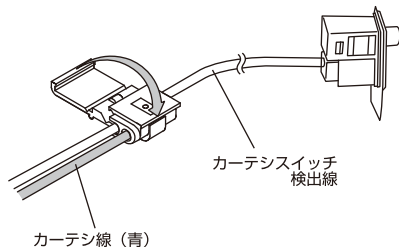
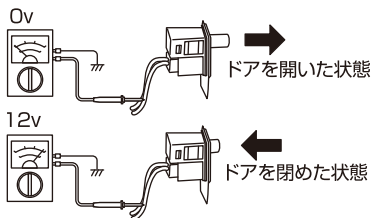
注1. ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしてもエンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

注2. リモコンでエンジン始動中、ドアを開けてから約15秒以内にイグニッションキーをONの位置まで回すと、エンジンは停止しません。

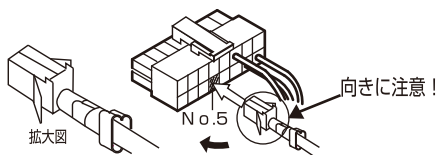
1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



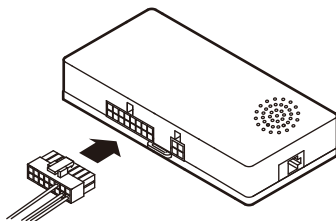
2 車側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ線(青)と車側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。



3 ①16PコネクターのNo.5にカーテシ線(青)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



②メインユニットにコネクターを差し込んでください。



4 リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒後にエンジンが停止するか確認してください。(LEDエラー確認表(P15)のE5を表示しているか確認してください。)

アンテナ・メインユニットの固定方法

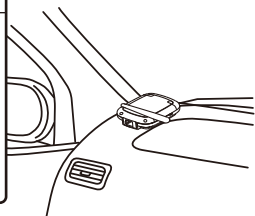
■ アンテナユニットの取付け・配線



注意

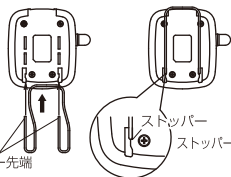
- ・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- ・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- ・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。
- ・接続ケーブル長さは約2.5mです。
- このケーブルの届く範囲で、アンテナユニットの取付けを行ってください。
- ・サンバイザーに取付けた場合、サンバイザーが使用出来ませんのでご注意ください。

ダッシュボード取付け例



■ サンバイザーに取付ける場合

- 1** バイザーステー先端を矢印の方向にアンテナユニット本体へ差し込みます。

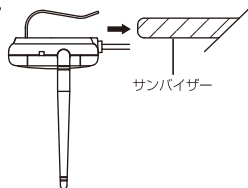


バイザーステー先端

ストッパー

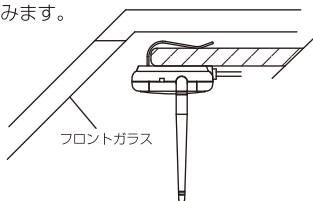
ストッパー奥まで差し込みます。

- 2** アンテナユニット本体をサンバイザーに差し込みます。



サンバイザー

- 3** アンテナユニット本体をサンバイザーに差し込みます。



フロントガラス

- ※ 車種によってはサンバイザーの厚みが薄いことがあります。その場合、アンテナユニットが落下する可能性があります。そのので付属の両面テープ等を、使用してサンバイザーに固定してください。

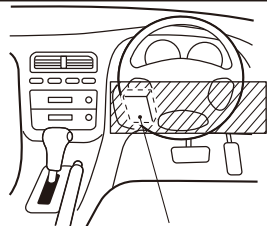
■ メインユニットの取付け



注意

- ・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P12～14）を行ってください。
- ・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付は避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。
(アンダーカバー内側等)



(例：この周辺に取付けます。)

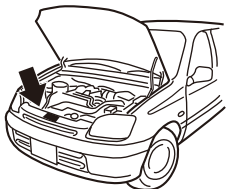
警告ステッカーの貼り付け場所

警告ステッカーについて

- ・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

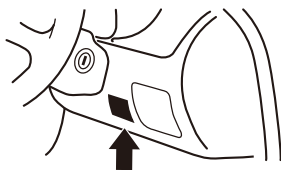
1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

- ・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けにくい目立つ場所に貼り付けます。



2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

- ・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



その他（オプションについて）

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品番	品名	使用目的
Be-960	ボンネットセンサー	リモコンでエンジン始動時にボンネットを開けた時（整備など）エンジンを強制的に止めます。
Be-963	カーテシ線 (Pポジション線兼用)	リモコンでエンジン始動時に車輦のドアを開けるとエンジンを強制的に停止します。又オートロック解除やターボタイマー中にシフトがパーキングの位置にない場合にエンジンを強制的に止めます。※一部車輦で取付けのできない場合があります。
Be-965	BeTime/ 当社別売セキュリティシステム ワイヤレスドアロックアダプター	ドアロック配線の出力信号を12V出力方式に反転させます。 ※対応車種はハーネス適合表の「ワイヤレスドアロック機能配線方式」欄を参照してください。
Be-966	L端子検出アダプター	L端子信号の電圧が低くL端子検出ができない車輦に取付け、L端子信号の検出を可能にします。
Be-968	アンサーフラッシュリレー	BeTimeのリモコンによるロック・アンロック/セキュリティスタート・ストップ時に、車輦のハザードなどを点滅させます。 ※商品により点滅動作できる機能は異なります。
Be-969	セルカット イモビライザーユニット	BeTimeのリモコン操作で車輦のセル始動を制御します。
Be-970	ワイヤレス ドアロック配線キット	ワイヤレスドアロック機能の追加可能な商品でワイヤレスドアロック機能を追加する際に、必要になります。
Be-IL01T,Be-IL02T,Be-IL03T Be-ILW04T,Be-ILW05T Be-IL31H,Be-IL32H,	イモビ対応アダプター	イモビライザー装備車に取付けることによりBeTimeの使用（エンジン始動）が可能になります。※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。
Be-IL21N Be-IL22N Be-IL23N	インテリジェントキー 対応ハーネス	インテリジェントキー装備車に取付けることによりBeTimeの使用（エンジン始動）が可能になります。※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。

運転するには

■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。
運転するときは、必ずキーをONの位置まで回してから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。
(フットブレーキ配線をしている時は、キーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。)

⚠ 注意

- ・キーをセルの位置まで回すと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
- ・キーをONの位置まで回さずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが、効かなくなる等大変危険です。



リモコンを紛失したときは

リモコンを紛失または破損した場合

新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードを既存のアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。 別売リモコン オープン価格
IDコードの登録方法はP9(IDコードの登録)に記載しています。

リモコンの防水性について

リモコンは生活防水仕様です。JIS 保護等級3相当
但し、下記のような環境でご使用した際は防水性を保証しかねますのでご了承ください。

- 激しい雨や水中でのリモコンの使用による水の侵入
- 洗濯機洗いや水遊び等による何等かのリモコン本体への負荷が加わったことによる水の侵入。
- リモコンの改造による水の侵入。
- 電池パッキンの劣化や紛失による水の侵入。(電池交換時)

注意 長期間リモコンを使用しますと防水パッキンの劣化により防水性が落ちます。
その場合は防水パッキンの交換が必要です。(保証期間外は有償交換になります。)

スリープ機能について

本製品は車を8日間以上使用しない状態が続くと、バッテリーの消費を抑えるスリープ機能が働きます。

- ・スリープ機能が働くとリモコンによるエンジン始動及びワイヤレスドアロック機能が出来なくなります。又、セキュリティモード作動中はWARNINGランプが消灯します。
- ・スリープ機能を解除するにはキーでエンジン始動を行ってください。



8日間



本製品を長期間使用しない場合はアンテナユニットの接続ケーブルを抜く事をお勧めします。

リモコンの電池交換について

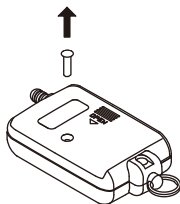
⚠ 注意

- ・電池寿命の目安は（テスト用）の電池で1日2回使用した場合、約1年間持ちます。（出荷時はテスト用の電池をセットしていますが、自然放電や使用する条件によって1年以下の場合があります。）
- ・リモコンはリチウム電池(CR2032)を2個使用しています。それ以外の電池は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

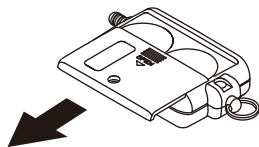
⚠ 警告

- ・交換した電池は、お子様の手の届かない所に保管して下さい。
- ・万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡して下さい。

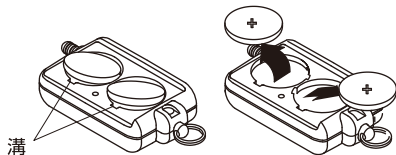
1 電池カバーのネジを外します。



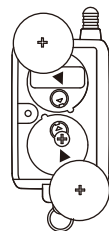
2 電池カバーを矢印の方向へスライドさせます。



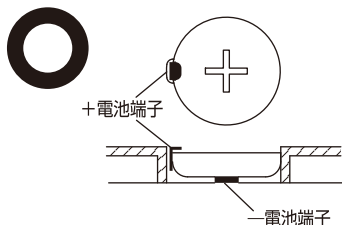
3 下図の溝に細い棒等を入れ電池(CR2032)を2個共、外します。



4 新品の電池(CR2302)を矢印の方向に従い、+を上向きにして一個づつ入れます。※1 最後に電池カバーを外したときの逆の順序で入れます。



※1 下図のように+電池端子を電池の上になる様に入れます。



✗ +電池端子が下図のように折れ曲がると電池の消耗が早くなったり電波飛距離が著しく低下することがあります。



- ・電池カバーには、電池パッキンがついていますので、電池交換の際、無くさないように注意してください。
- ・電池パッキンが無いと防水性がなくなります。

故障かな？と思ったら

■ エンジンスターター

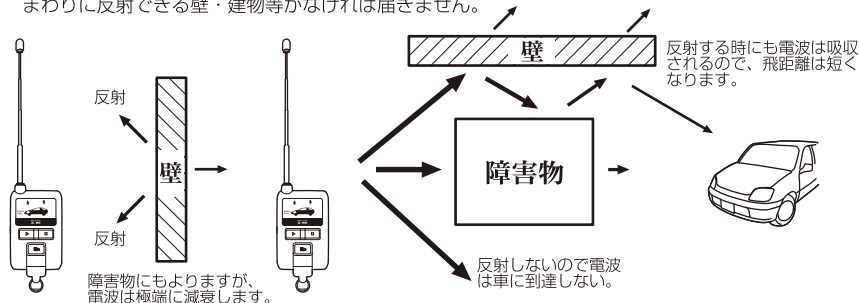
症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アースはとれていますか？	・アースを確実にとってください。
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。(P39)
	・本体内の「IDコード」が消失している可能性があります。	・P9の「IDコードの登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンは始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アンテナユニットのランプ表示が点滅していませんか？	・P15の「LED確認表」を参照し、P12~14の「作動確認」を行ってください。
	・アンテナユニットのPOWERランプ(緑)とERRORランプ(赤)が点滅していませんか？	・P15の「LED確認表」を参照し、P12~14の「作動確認」を行ってください。
リモコンでエンジンは始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確定ですか？	・P20「アイドリング時間の設定」を参照し確認してください。
	・3回エンジン始動を行って終了しますか？	・メインユニットのファンクションスイッチNo.8をONにしてください。(P10)それでもエンジン始動しない場合はL端子配線を行ってください。(P17)

■ ターボタイマー

症状	確認内容	対処方法
ターボタイマーが作動しない。 (ACC電源が切れる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか？(出荷時の設定はOFFです)	・P20「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・アンテナユニットのERRORランプが点滅していませんか？(P15)	・フットブレーキを踏みながら、イグニッションキーをOFFにしていませんか？

■ 電波の到達距離について (電波特性)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する。)
- ・電波は直進しませんが、ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

ご購入日から3年間です。（リモコンはご購入日から1年間です。）

■修理を依頼される時

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」（P40）のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輛と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

有料修理となります。販売店にご相談下さい。

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P19「リモコンの追加登録」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-118dBm (25℃) で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
ケース寸法	32.5 (W) ×49.8 (H) ×15.8 (D) mm
重量	32g (電池含む)

■アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数変移	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以内
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-118dBm (25℃) で安定動作
送受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
動作温度範囲	-25℃～+90℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
ケース寸法	46.8 (W) ×56 (H) ×19 (D) mm
重量	38g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2 (IG1・IG2) 25A×4 (ACC・ST1・ST2・ST-CONT)
寸法	66.5 (W) ×137.5 (H) ×29 (D) mm
重量	250g (コード含む)